

日本科学者会議  
京都支部ニュース 5月号 No.411

2018年5月11日発行

〒604-0931 京都市中京区二条通寺町東入榎木町95-3 延寿堂南館3階

Tel/Fax : 075-256-3132

E-mail : jsa-kbranch3132@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL : <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/jsa-k/>

ゆうちょ銀行振替口座 加入者名: 日本科学者会議京都支部 口座番号: 01050-6-18166

ゆうちょ銀行総合口座 加入者名: 日本科学者会議京都支部 口座番号: 14480-2800181

上記総合口座を他金融機関からの会費振り込みの受取口座として利用される場合は以下の内容を指定して下さい。

店名: 四四八(読み ヨンヨンハチ) 店番: 448 預金種目: 普通預金 口座番号: 0280018

目次

- ◆ 京都支部第52回定期大会と学術集会(5/20)のご案内 .....2
- 『日本の科学者』読書会4月例会(4/19)の報告「水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様性管理」 .....3
- 関西技術者研究者懇談会4月例会(4/8)の報告 .....5
- ベトナム・コンソン島美術教育推進プロジェクト記念講演会(5/3)報告 .....6
- ▼ 5月~7月の支部関連行事の案内(JSA近畿も参照) .....7
  - ・ 関西懇5月例会(5/13)「大気汚染と健康影響をめぐる問題」
  - ・ 『日本の科学者』読書会5月例会(5/17)
  - ・ 支部学術集会と第52回支部大会(5/20)
  - ・ 第27回自然科学懇談会(5/26)「生命誕生への道を解き明かすGADV仮説」
  - ・ 日本科学者会議第49回定期大会(5/26~27)
  - ・ 関西懇6月例会(6/10)「新幹線台車の亀裂・品質データ改ざん問題と工業材料の基礎および材料の強さ・破壊について」
  - ・ 関西懇7月例会(7/8)「シュミレーションソフト『FreeFEM++』とその応用例」
- ★ シリーズ: 私の憲法メッセージ(奥野恒久) .....8
- 寄稿: 『731平澤学位論文の謎 つづき』(宗川吉汪) .....10
- 寄稿: 『復興とオリンピック』(左近拓男) .....12
- ◆ 支部幹事会・ワーキング会議だより .....13
- ◆ 近畿の催し物案内: 「JSA近畿 No.5.30」 .....14

＜今年度会費の早期納入のお願い＞

4月1日から2018会計年度が始まっています。全国会費は毎月ごとに本部に前納していますが、既納会員の会費で未納会員の会費も前納しています。したがって年度初めに相当の会費納入がないと支部財政は困難となります。年度初めの2ヶ月で50%の会費納入を目指しています。今年度は5月2日現在で約40%の納入率で順調に進んでいると思います。今年度会費未納の会員には今月も振込用紙を同封していますので、早急に納入していただくようお願い申し上げます。  
(財政担当幹事・鈴木)

## 京都支部第 52 回定期大会のご案内

日時：5月20日（日）13：30～16：30

会場：同志社大学・室町キャンパス・寒梅館 6階大会議室

当日の午前中は「京都支部学術集会」を同一会場で、下記プログラムの通りに行います。

### 支部大会について

- ・ 支部規約により全会員の出席を求めています。  
大会成立には委任状も含めて過半数の出席が必要です。  
支部ニュース4月号に同封した出欠ハガキを必ず投函してください。
- ・ 支部幹事の選出は立候補制です。  
幹事の員数は会員数の 1/20（13人）以上です。ふるって立候補ください。
- ・ 立候補される方は、支部幹事会宛に、文書、FAX、メールのいずれかにて  
5月17日（木）18時までにご連絡ください。  
文書の場合：〒604-0931 中京区二条通寺町東入榎木町 95-3 南館 3階  
日本科学者会議京都支部  
FAX の場合：075-256-3132  
メールの場合：jsa-kbranch3132@mbox.kyoto-inet.or.jp  
幹事立候補は大会当日に会場でも受け付けます。

## 京都支部学術集会プログラム

日時：5月20日（日）10：00～12：30

会場：同志社大学 寒梅館 6階大会議室

司会：細川孝

- 10：00～10：30 青木道忠・近藤真理子・藤本文朗「教育学の構造と教師（専門職）教育」
- 10：30～11：00 小林芳正「低周波音被害のその後」
- 11：00～11：30 大倉弘之「福島原発事故による日米の被ばく者達」
- 11：30～12：00 富田道男「原発の運転差止仮処分裁判における不当決定の詳細を見る」
- 12：00～12：30 左近拓男「軍学共同研究と大学の研究・教育」

## 『日本の科学者』読書会 4 月例会 (4/19) の報告

### 4 月号特集：水田が支える生物多様性とその保全

#### —総合的生物多様性管理

標記例会が 4 月 19 日午後 3 時より支部事務所で開かれた。参加者 7 名。4 月号特集の中から以下の 3 篇の論文が取り上げられた。森本信生「水田が支える昆虫の生物多様性とその保全」(紹介：大倉弘之)

本論文は、特集「水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様性管理」の中で 4 番目の論文であり、特に昆虫に焦点を当てている。

水田は水や温度について変化の大きい環境であるが、その変化は毎年同じ場所で千年以上も繰り返されてきた予想可能な変化であり、稲作のために必要な水路やため池などの必然的付帯施設及び畑や雑木林、人家周辺の庭や神社の森などに囲まれ、モザイク状の植生からなる里山の一要素として、安定のなかに攪乱があるという特殊な生態系を持ち、特有の生物相を育むことになった。

水田の昆虫 1723 種は、日本の昆虫約 3.2 万種の 5% であり、それは水田の全生き物の 30% である。さらに、水田の昆虫の 32% に当る水生昆虫には、捕食（動物を食べる）者の割合が多く食物網(連鎖)の上位に位置する。

実は、最も身近な昆虫の約半数が絶滅の危機にあり、同時に水田は絶滅危惧種の生息地であり、生物多様性保全の重要な場であることが指摘される。このことを、環境省または都道府県により絶滅危惧種に指定されている割合で見えていくと、代表的な水生昆虫のトン

ボ目の例では、日本産トンボ全体の 82% が、水田のトンボに限るとその 84% が、また、ゲンゴロウ科全体の 87% が、水田のゲンゴロウに限るとその 96% が、それぞれ絶滅危惧種に指定されている。食性（餌）別で見ても、一般に動物を食べる（食物網のより高い位置にある）種と食べない種では、前者の方が絶滅危惧種に指定される割合が高く、より絶滅の危機に直面している。特に、捕食性水生昆虫の代表格であるタガメとゲンゴロウは、それぞれ全都道府県と 43 都道府県で絶滅危惧種に指定されている。

最後に、水田だけではなくため池などにも移動しながら複合生態系を立体利用するゲンゴロウや、稲作体系に適応して水田と高地間を長距離移動するアカトンボの普通種であるアキアカネの例を含めて、それらを含む種が多様な生活圏を持っている実態が紹介される。アキアカネも 1990 年代以降激減しているが、その原因究明は今後の課題とされている。

現在は、水田耕作に適合した種のみが繁栄して生き残っているとも考えられ、残された遺産をどう次世代に受け継ぐかという課題があり、IBM（総合的生物多様性管理）の考え方が重要とする。水田については、様々な環境要素を含む里山全体を視野に入れて行われるべきと結んでいる。

（感想と議論）特集全体としての趣旨は明確と思われるのだが、本論文のような各論にな

ると、議論が細かい割には、結論が漠然としすぎていて、IBMについては、それがどう有効かなども示されず唐突な印象を持った。市川憲平「水田・水路の魚たち—田んぼの魚の多様性復活に向けて」（紹介：山口進次）

水田と小川、ため池がつながって、魚たちは生息や産卵の場所として、これらを自由に行き来、利用してきた。しかし水田の水の管理、農業機械の利用のしやすさのため、国や地方自治体が主導して2000年頃までに、水田の区画整理、水路のコンクリート化を実施した。これらの事業は生態系や自然を守るという考えが欠如していた。

元来、水田は人工的なものであるが、水田耕作が始まって以来、2500年程の間にすっかり自然の中に定着し、水田を利用する生物も増加、安定していた。ところが先の圃場整備の結果、水田と水路、ため池が寸断されてしまった。そのため田んぼの生きもの全種リスト67種群のうち、25種群が環境省版レッドリストで絶滅危惧種に指定されるまでになってしまった。

水田と水路をつなぐことで、魚類の多様性を復活させようとする試みが行われている。しかし農村の高齢化や、後継者不足が現状で、耕作できなくなった農家では、小作を雇い細々と水田を守るのが精いっぱいという。

宇根 豊「水田の生きものへの百姓のまなざし—生物多様性管理（IBM）を技術化するための方法論（紹介：宗川吉汪）

農業は生きものへのまなざしを“技術化”して天地自然を守ることにも責任を持つべき（“技術化”を“科学化”とした方が分かりや

すい。以下、カッコ内は宗川の意見）

## はじめに

農業の近代化に歯止め；「田んぼの生きもの調査」、IBM理論、田んぼの生きもの全種リスト、田んぼの生きもの指標（ここでの近代化は経済性のみを価値とした農業技術の近代化を指す）

### 1. 赤とんぼ

- 赤とんぼが田んぼで生まれる事実を知らない理由：近代化精神では、有用なもの（天敵）、有害なもの（害虫）に関心；無用なものに天地自然のまなざしを向けよう（科学の目というところか。価値論では、プラス価値、マイナス価値、価値中立—価値を考察しないことを区別する）

- 赤とんぼ（ウスバキトンボ）の羽化時期 先祖の霊

### 2. 自然と「天地」

- 自然の生きものは自然に生まれる、田んぼは自然か？
- Natureの原意：神と人間と人造物以外（人間でなく文明人、野蛮人は自然に属す、God is the author of Nature.）戦前では“自然”は、Natureでなく「天地」
- 近代化技術；農業の自然的（経済的社会的）制約による不利を克服（補正）（農業基本法第1条、1961~1999）；天地自然観との決別

### 3. カエル

- カエルを育てる稲作技術はないのにカエルが田んぼで育つのは何故か；稲作技術がこのような多面的機能を生み出す
- 武谷三男の技術の定義（適応説といわれる。一方、宗川は技術の体系説をとる。技術は

労働手段の体系，原発は単に核物理学の応用ではなく，自然科学的・工学的存在と同時に社会科学・歴史科学的存在)

#### 4. 生物多様性戦略の挫折

- ・農水省の戦略(2012年) 百姓に認識と自覚が欠如
- ・農水省は外側，百姓は内側，それをつなぐもの-生物指標
- ・環境支払い制度-農業を資本主義の市場経済から外していく手段

#### 5. 先端技術

- ・ICT (Information and Communication Technology ; 情報通信技術)
- ・AI (artificial intelligence ; 人工知能)
- ・IoT ( Internet of Things ; モノ のインターネット : 様々なモノがインターネットに

接続される. 単に繋がるだけではなく，モノがインターネットのように繋がる. 情報交換することにより相互に制御する仕組み)

- ・生産性(経済効率)の追求のみ

#### 6. 生物多様性の技術化

- ・生物多様性豊かな田んぼには価値がある
- ・生きものへのまなざしを技術化(意識化)

#### おわりに

- ・経済性であろうとなかろうと(尊厳ある個人の生存が最高の価値)

#### 感想

- ・農業の価値について，経済的価値に加えて文化的価値を見出せ，と直裁に主張すべきだった.
- ・技術の武谷理論は誤りで，生きものへの科学のまなざしを，と主張すべきだった.

## 関西技術者研究者懇談会 4 月例会の報告

日時 : 2018年4月8日(日)14時~17時

場所 : 国労会館会議室

参加者 : 11名

報告 : 出口幹郎氏

テーマ : 神戸製鋼のデータ改ざん問題について(1972年4月から1998年3月まで在籍した技術者として)

2017年10月8日に公表された神戸製鋼のデータ改ざん問題について，神戸製鋼に1972年4月から1998年3月まで在籍した技術者として報告を行なった。

神戸製鋼は1905年に創業。初代社長が海軍少将，3代目社長と4代目社長が海軍中

将。事業は，鉄鋼だけでなく，アルミ・銅，建設機械，機械，エンジニアリング，溶接，電力などの複合経営。事業開始の発端は軍需関連が多い。不祥事は，帝人事件(疑獄事件に発展)，闇勢力との癒着(総会屋への利益供与等)，ベネズエラ大統領選挙への献金，鋼鉄製橋梁工事の談合，煤煙データや検査データの改ざん，政治資金規正法違反，所得隠しなど連続的に発生した。2000年6月に企業倫理綱領を制定し，2017年7月に川崎博也前社長が「3つの約束」と「6つの誓い」を発したが，その甲斐もなく，検査データの改ざんが再び繰り返された。「生まれも育ちも悪い」と感じる。

2018年3月6日の最終報告書によれば、改ざんの影響を受ける客先686社のうち、562社(約82%)がアルミ・銅事業部門の客先で、アルミ・銅事業部門の四人の役員が1970～2000年以降に改ざんを認識していたにも関わらず何もしなかったのである。最終報告書は、2017年11月10日の中間報告書よりも反省の弁が後退し、原因と再発防止策もお題目に終わっていると言っても過言ではない。

改ざんの根源的な原因は、「利益だけの追求」、「徹底的な人減らし」、「不公正な人事評価」、「不適切な人材育成」にあると考えられる。報告者は、「自由に話せる職場の実現(上記企業倫理綱領に制定)を目指して在籍中に実践した。これを具現化しない限り、これからも不祥事を繰り返すであろう。

後日(4月10日)、朝日新聞が「第三者委員会報告書格付け委員会が『神鋼の不祥事報告書は落第』と報道。厳しく評価した理由は、神戸製鋼が外部調査委員会の報告書を書き直して最終報告書にしたことと掘り下げが浅過ぎる(迫真性に欠ける、現場の声がないなど)ことであった。

なお、安倍晋三首相は、神戸製鋼に1979年に入社し、ニューヨーク事務所～加古川製鉄所工程課～東京本社鋼板輸出課に合計3年間在籍していた。

## 討論

- ★ 月刊誌「経済」の論文に「改ざんの原因は、高炉メーカーで万年最下位や阪神淡路大震災による損益の悪化にある」と記述。これは間違っているのではないか。
- ★ 2008年の鉄鋼業界ぐるみの改ざんが行なわれたように、神戸製鋼だけの問題ではないと考えられる。「生まれや育ち」という観点から、他の鉄鋼メーカーの調査・検討が必要。
- ★ 川崎重工の新幹線台車の亀裂問題の解明の方が重要ではないか。
- ★ データ改ざんの法整備が必要。JISに違反した場合の罰則を重くすべき。

## これからの日程

日時：5月13日(日)

テーマ：大気汚染と健康影響をめぐる問題

担当：久志本俊弘氏

(文責：出口幹郎)

## ベトナム・コンソン島 美術教育推進プロジェクト記念講演会(5/3)報告 平和教育は文化(絵画)を通して—日本とベトナム交流—

5月3日午後、ひと・まち交流館京都でベトナム・コンソン島での美術交流をすすめている沖谷晃司と内本年昭(中学校の美術教師)の報告があった。参加者は約30人であった。

(詳しくは会員に送られたチラシ参照)

また、ドクちゃんとの生中継がおこなわれ、高3の林万葉さんが「私はドクちゃんのファ

ン。しかし友人にダイオキシンの話をしてもわかってくれない。どうしたらいいか」に、ドクちゃんは「ぜひベトナムにきてダイオキシン被害者にあつて」と。

また、2019年、ベトナムと日本の「願う会」の支援活動の朗読会にとりくむ「二人だけの劇場」セザンヌ代表遠藤久仁子氏の参加、と

りくみと進行が述べられた。

をかねて報告します。

憲法記念日にふさわしいささやかなとりくみであった。後援いただいた JSA 京都にお礼

(文責：藤本文朗)

## 5月～7月の支部関連行事の案内（「JSA 近畿」も参照）

### 1. 関西懇5月例会

日時：5月13日（日）14：00～17：00

場所：大阪国労会館

テーマ：大気汚染と健康影響をめぐる問題

担当：久志本俊弘さん

### 2. 5月読書会

日時：5月17日（木）15:00～17:30

場所：京都支部事務局

テーマ：日本の科学者 5月号

担当：久志本論文（久志本）、西川論文（久志本）、嵯峨井論文（菅原）、頼藤論文（大倉）

### 3. 第13回幹事会

日時：5月17日（木）18：00～20：00

会場：京都支部事務所

### 4. 第52回支部大会

日時：5月20日（日）

会場：同志社大学（今出川校舎）

学術集会（10：00～12：30）

大会（13：30～16：30）

懇親会（17：00～19：00）

### 5. 第27回自然科学懇談会

日時：2018年5月26日（土）13：30～15：30

場所：京大楽友会館

講師：池原健二氏（奈良女子大学名誉教授・生命科学）

テーマ：生命誕生への道を解き明かす GADV 仮説

講演内容：生命の起源をめぐるいくつかの考えが提案されています。現在最もよく知られているのは RNA が生命の起源だとする「RNA ワールド仮説」です。しかしこれも仮説の一つにすぎません。次回の自然科学懇談会では、池原さんに蛋白質をより重視した独自の起源論、「GADV 仮説」について講演していただき、討論することにします。

## 6. 日本科学者会議第 49 回定期大会

日時：5月26日（土）～27日（日）

会場：東京

## 7. 関西懇 6 月例会

日時：6月10日（日）14：00～17：00

場所：大阪国労会館

テーマ：新幹線台車の亀裂・品質データ改ざん問題と工業材料の基礎および材料の強さ・破壊について

担当：中村郁夫さん

## 8. 関西懇 7 月例会

日時：7月8日（日）14：00～17：00

場所：大阪国労会館

テーマ：シュミレーションソフト「FreeFEM++」とその応用例

担当：西山一男さん

### シリーズ：私の憲法メッセージ

#### 腐敗した権力と憲法を掲げる市民、 そのせめぎ合いの中での5月3日

奥野恒久

2018年5月3日、71回目の憲法記念日を迎えた。1年前のちょうどこの日、安倍晋三首相は、自民党総裁という立場で改憲推進派の民間団体の開いた集會にビデオメッセージを寄せるとともに、同日付の「読売新聞」のインタビューに応じて、極めて唐突に改憲論を開陳した。「憲法学者や政党の中には、自衛隊を違憲とする議論が今なお存在し」、「自衛隊は、違憲かもしれないけれども、何かあれば、命を張って守ってくれ」というのは、あまりにも無責任」だとして、「9条1項、2項を残しつつ、自衛隊を明文で書き込む」と提案したのである。

以来1年、北朝鮮をめぐる情勢が緊迫し、日本の安全保障に対する国民の危機意識が高まりもした。突如実施された、昨年10月の衆

議院総選挙では、北朝鮮情勢と野党の混乱というイメージだけが流布され、政治的争点について議論が深まることなく安倍自民が圧勝した。3分の2議席を優に上回る議席を改憲勢力は占め、年内に国会での改憲発議が現実化するのでは、という憲法をめぐる戦後最大の危機の中で2018年を迎えた。

安倍政権は憲法違反の政治をルールも手続も無視して積み上げてきた。その積りに積もった矛盾が、「森友学園」「加計学園」での文書改ざんや隠ぺい、自衛隊の日報隠ぺいという形であからさまになったのである。長期政権と、保守政権としても特殊な「アベ政治」の腐敗ぶりである。北朝鮮問題では、安倍政権は「トランプ・ファースト」と圧力一辺倒ゆえに、平和に向けての役割を何ら果たすこ



となく、いやむしろ足を引っ張り、現時点では完全なる「蚊帳の外」である。イージスアショアなど武器をアメリカから買う約束だけはしておいて、何を得的ものがあつたのだろうか。「憲法を大切にせず、軍事国家化を進めるこの政権に改憲をさせるなど、危険すぎる」というのは多くの国民の頷くところであろう。しかし、改憲こそを政治的使命とし、改憲勢力に支えられているこの政権は、改憲の旗を降ろすことはできないのだろうか。

2018年3月25日の自民党大会では、9条について次のように9条の2を設けるといふ。

「①前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置を取ることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。②自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する」。問題点はいくつもあるが、日本国憲法の中に「我が国の平和と独立を守り」という文言を加えることの重大性を指摘しておきたい。周知の通り、日本国憲法は徹頭徹尾、個人の尊重、国民の人権保障を目的とする思想で貫かれており、国家の独立を守るといった思想を読み取ることは難しい。それゆえ、「憲法前文で確認している『国民の平和的生存権』や憲法13条が『生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利』は国政の上で最大の尊重を必要とする旨定めている趣旨を踏まえて考えると、憲法9条が、我が国が自国の平和と安全を維持し、その存立を

全うするために必要な自衛の措置を採ることを禁じているとは到底解されない」（2014年7月1日閣議決定6頁）というように、憲法上の国民の権利を持ち出すことによって、「自国の平和や安全」を導かざるを得なかったのである。国民の人権に還元される限りでの「自国の平和や安全」であつて、「自国の平和や安全」のために国民の人権が犠牲になることなどあつてはならない。しかし、国家の最高法である憲法の中に「我が国の平和と独立を守り」という文言が加わるならば、「我が国の平和と独立」が「一人歩き」をはじめ、ともすれば国の独立を守るために国民の人権が制約されるということも十分考えられる。

「安倍改憲」論は二つの面で、「改悪」だといわざるを得ない。日本社会ではいま、職場で、学校で、地域で、家庭で、一人ひとりが大切にされていないことが問題なのである。だとすると、憲法13条の「個人の尊重」を徹底・実質化することこそが求められているはずである。「国家」を強調する改憲など、「逆行」以外の何物でもない。もう一つは、北東アジアの平和に向けての面である。南北朝鮮の首脳会談をはじめ、朝鮮半島に平和を実現する国際的な潮流の中で、非軍事平和主義規定たる憲法9条を最大限活用すべきところである。この時にそれを変えようとするなど、周辺諸国民に不信をわき起こす試みでこれまた「逆行」以外の何物でもない。安倍政権に対する共通の認識を出発点にして、その改憲論の問題点を語りながら日本国憲法の価値も共有していきたい。

先月号の「支部ニュース」で、私は、旧満州第731部隊軍医将校平澤正欣の死亡がこれまで言われてきた1945年6月11日ではなく、前年の1944年6月ごろではないか、と推論した。論拠として秋元寿恵夫の『医の倫理を問う—第731部隊での体験から』（勁草書房、1983）の中の記述、「わたしたちが住んでいた判任官宿舎には、中留大佐のほかには平沢少佐と池川大尉との夫妻がおられたが、（中略）平沢少佐は間もなく訓練中に墜落死を遂げてしまったことが、いまでも痛々しく想い出される。」を引用した。この記述から、平澤は、秋元より先に731部隊に赴任していて、秋元が赴任した1944年5月末から“間もなく”墜落死した、と思った。しかし私の推論は誤りであった。

先ごろ西山勝夫氏によって開示された「関東軍防疫給水部留守名簿」によると、平澤が731部隊に赴任したのは1945年1月31日であった。つまり、平澤夫妻より秋元夫妻の方が先に判任官宿舎に入居していたことになる。秋元が記憶していた“間もなく”は1945年2月以降ということになる。

そこで新たに、『告白 731 部隊 Kindle 版』（森田靖郎著、アドレナライズ、2013.3.1）を入手して、そこに記載の「七三一部隊林口支部長・榊原秀夫軍医少佐の自筆供述書」を読んだ。榊原は1944年11月から敗戦の1945年8月まで、731部隊の林口支部の支部長であった。敗戦後、八路軍に投降したが、1952年ごろ中国当局に逮捕され、撫順の戦犯管理所に収容された。榊原の供述書はこの管理所で作成されたものである。この供述書に平澤

の名前が6カ所登場する。少し長くなるが以下引用したい。文中のカタカナ書きをひらがなに、旧漢字を新漢字に改めた。引用箇所はKindle版ページの%で示した。平澤にアンダーラインを施した。

・ページ10%~11% 一、関東軍防疫給水部全般の組織及所在地址：又第一部の二木技師も第二部に兼務して居りました。其の他平澤少佐（八・一五直前に彼は死にましたが、其の後任増田少佐）を班長とする航空隊（軽爆撃機三〜四機？）があり、又第二部の下にアンダー

安達演習場があります。又第二部に属する動物班の班長は石井の兄です。第二部の地址は平房。

・ページ12% 細菌謀略の実例 五 飛行機による投下実験：一九四五年四月支部長会同時、第二部航空班長平澤少佐（私と軍医学校同期生）に会いましたが其の時彼は『これから安達に行く』と云っていました。此の言葉より安達に飛行場があることは確実で、恐らく一九四二年常德に「ペスト」細菌爆弾投下前には安達に於いて此の実験を行なったものと推定致します。

・ページ21% 安達演習場での殺人実験 四、安達殺人実験場に関する件：一九四五年四月五日正午支部長会同は終了し私は同日午後一時半頃、牡丹江支部長尾上少佐と共に第七三一部隊航空班長平澤少佐の操縦する軽爆撃機に乗り第七三一部隊第二部（部長院常重大佐）の安達殺人実験場に行きました。私の行きました理由は安達殺人実験場とはどんな處かどんな設備があるだろうと云う考えと支部長就

任以来支部の兵に会っていないので激励のためでありました。

・ページ 26% 炭疽菌爆弾投下実験に参加九、安達に関する件：過去の供述は全くの誤りであり、私は安達に於ける殺人疽験に参加致しました。

会同後安達で殺人疽験の演習があるから支部長は希望なら参加してもよいとの石井の話で私は参加致しました。同日午後一時、私は第一部肥之藤少佐（第一部で炭疽菌の研究者）、ハイラル

海拉爾支部長加藤少佐、牡丹江支部長、他一名の技師と共に軽爆撃機で安達に参りました。

安達には既に第二部の演習員が第二部長碓大佐の指揮の下に演習の準備をして居りました。やがて重爆撃機が到着し中国愛国者の方四名と警備人員が降りました。四名の方は其の儘安達演習場に二五米の間隔に地に打ち込んだ丸太の棒に縛りつけられました。

三時頃石井四郎、第一部二木技師、総務部企画課長田部中佐が飛行機でやって来ました。三時半頃軽爆撃機が演習場の上空に飛来し約一五〇米の高度より素焼製爆弾（陶器の一種）を投下し五〇米上空で炸裂しました。

私は完全予防衣をつけ、六〇〇米位の距離からこの惨行を見たものであります。此の爆弾は恐るべき炭疽菌を充填した爆弾で鼻咽腔より吸入せしめ、常時絶対に生きることの見込みのない肺炭疽に、或は破片により皮膚炭疽を起させる全く酷悪の罪行であり、私も此に参加したものであります。

四時近く私は他の支部長と共に哈爾濱に帰る飛行機に便乗し帰哈（注・ハルビンへ帰るの略）致しました。

此の中国の方々是我的帰る時は其の儘でありましたが消毒の上第七三一部隊の監獄内で

其の発症状況を観察し殺害され死後解剖されることを聞きました。

投下飛行機は第七三一部隊平澤少佐、増田少佐等の操縦する飛機でありました。

・ページ 28% 第三部航空班長増田少佐は薬剤少佐で爆撃機操縦者。前の航空班長平澤軍医少佐は八・一五ノ約二ヶ月前航空事故で死亡し其の後継者。

・ページ 34% (2) 飛行機による投下法の実験：平房の航空班には軽爆撃機五～六機あり。航空班長平澤少佐に一九四五・四即ち石井の招集する会同の時に会ひし際「安達に行つて直ぐ帰るが希望なら同乗させるぞ」と云ひしことあり。此の言によりて安達に飛行場のありしことは確実なり。此に依り想像する

ベスト

に常徳の百斯篤蚤投下前に投下法の実験を行ひしものと推定す。

榊原の供述から、1945年4月に行なわれた安達演習場での炭疽菌爆弾投下実験は平澤と増田によって行なわれたことが分かる。そして榊原の記憶によれば、終戦の8月15日の約2ヵ月前に平澤は航空事故で死亡したことになる。秋元寿恵夫の記憶にあった“間もなく”は1945年の6月頃のことであったのだろう。

西山氏の調査した平澤の履歴書によると、平澤は1933年3月に京大医学部を卒業後、陸軍軍医学校乙種に在籍（1935年9月～1936年7月）した後、1939年3月～1941年3月まで、731部隊で石井・北野部隊長の指導の下で特殊防疫の研究に従事していた。そして再び陸軍軍医学校の甲種学生として石井の下で防疫学と特殊防疫学を専攻した（1941年7月～1944年3月）。ここでいう“特殊防疫学”とはおそらく細菌兵器の研究を指すのだろう。

平澤と榊原は陸軍軍医学校の同期生であった。なお、平澤はパイロットの資格を1937年10月に取得している。

平澤は1939年から死亡する1945年まで一貫して石井・北野の下で人体実験を含む細菌

兵器の研究をしていた。そして京大医学部は平澤の死後も彼の学位授与の手続きを進めたのである。

## 寄稿：復興とオリンピック

左近拓男

たまに「週刊金曜日」が無性に読みたくなります。読後の爽快感がハンパないです。ナウい言い方では、とにかくムズい。2018.4.20号を、京都での仕事帰りに、山科駅前(地下)の居酒屋で読み込みました。オリンピックに斜を構える久米氏とピーコ氏のお話に感涙しました。詳しくは週刊金曜日をちゃんと買って、みてね～。私は中高と軟式野球部および軟式庭球部に在籍した経験はあります。高校時代は生徒会を傘にして逃げていました。とはいえ、大学時代は仙台広瀬川の河川敷で仙台的草野球でピッチャーとして投げ勝ちました。変化球には自信がありました。野球に興味はないわけではないです。高校母校の硬式野球部の活躍には敬服しております。とはいえ、東京オリンピック、というか、オリンピック自体になんだか賛同できない思いがあります。職場である大学にもTOKYO 2020東京オリンピックのポスターが貼ってます。これを見たり、「週刊金曜日」や「紙の爆弾」を見て疑問が捻出！スポーツは、やっぱ、友達頑張れ、母校頑張れ、滋賀県勢頑張れ!のレベルとしか思えません。京都支部会員にはすみません。龍谷大平安高は応援してます...「日本国」は応援するには荷が重いです...

「週間金曜日 4/20」で、藍原氏は「小児甲

状腺ガンをはじめとする健康被害をなきものにしようとはしていないか」とも述べています。オリンピックとセットになってしまう復興とは何であろうか？本来復興に使われるべき税金がオリンピックの話題づくりに使われてしまう。利益誘導が最優先。明日をも知れない現実に7年間以上直面し続けている東北の人々にはどう映っているのでしょうか？津波の被害に遭遇した方々に対して、3.11前の水準まで戻す努力はなされているのでしょうか？家族で築いた家庭が一瞬で津波に流されたんですよ！福島の人々が安心して暮らせるような、保健的・物理的対策がなされているのでしょうか？何兆円もの血税をつぎ込んで決行しようとするオリンピック・パラリンピックは、真の日本を復興する、あるいは、障害者に気概をもたらすような意義あるものになっているのでしょうか？

普段の生活を「ちょっと」便利にしよう、高齢者にも障害者にも「ちょっと」やさしい技術を開発しようという、日常の微々たる技術革新で人々が満足する社会が構築されてきたと思います。電力に関する「自然・再生可能エネルギー」にしてもしかり。何が「まし」かです。オリンピックや万博(1970年の大阪万博の際には「4歳だ、日本脳炎になる」

と連れて行ってもらえなかった。「月の石」と「太陽の塔」が見たかった。若かったんでしようね。)といった「カンフル剤」で本当に人の心が豊かになるのかな? 家族や身近な人々と楽しみを分かち合うのが人間にとって最も尊く、ゆしみのある時間ではないのかな? 成熟した個性を重視する社会と思われる21世紀において、なんでアスリートだけ別格に「日本チャチャチャ」で応援しなけれ

ばならないの? 普通でいいじゃん。家族で将来を語り合おうよ。友人とヲタク話をして、統合し、相容れないときはロバトルしようよ。それでいいじゃん、と思いました。私、職場や家庭でも、相克の状態になりながら、共通点を見つけて、「そだね～。んだすな～」と頷いています。国民ではなく市民よ、日常を大事にしましょう。

## ◆◆◆◆ 支部幹事会・ワーキング会だより ◆◆◆◆

2017年度第12回幹事会(4/19)および第12回ワーキング会議(5/1)の報告

### 1. 会員の現況(5月1日現在)

一般会員 228, 特別会費会員 4, 家族割り特別会費会員 3, 若手会員 6,  
若手特別会費会員 13, 会員合計 254, 読者 3

### 2. 会費納入状況(4月24日現在)

18年度会費納入者: 一般 79, 特別会員 1, 家族割 2

17年度会費未納者: 一般 12, 若手 1, 若手特別 2

### 3. 全国役員および全国大会代議員について

京都支部から全国常任幹事 1, JJS 編集委員 1, 全国大会代議員 3 を選出する必要があります。

### 4. 4月～5月の支部関連行事(支部ニュース4月号発行(4/11)以降)

4月12日(木) 講演会「学問が戦争に協力する時: 731部隊の生体実験をめぐって」

4月15日(日) JJS 近畿地区サポーター会議

4月19日(木) 4月読書会

4月19日(金) 第12回京都支部幹事会

5月1日(火) 第12回ワーキング会議

5月3日(木) ベトナム・コンソン島 美術教育推進プロジェクト記念講演会

(文責 宗川)

## JSA の関連する近畿地区の催し

## ◆JSA 兵庫支部総会記念市民フォーラム

「神戸、この100年間の災害と復興の歴史」

5月12日（土）14：30

神戸市勤労会館（三宮）講習室403

講師：室崎益輝氏（兵庫県立大学・減災復興政策研究科長）

\*13：30から総会議事

## ◆関西懇5月例会

日時：5月13日（日）14：00～17：00

場所：大阪国労会館

テーマ：大気汚染と健康影響をめぐる問題

担当：久志本俊弘

## ◆京都支部5月読書会

日時：5月17日（木）15:00～17:30

場所：京都支部事務局

テーマ：日本の科学者5月号「大気汚染と健康影響」担当：久志本論文（久志本），西川論文（久志本），嵯峨井論文（菅原），頼藤論文（大倉）

## ◆講演学習会「日本国憲法の基本的価値とはー20世紀&lt;恐慌と戦争&gt;の体験とその克服をめざした現代立憲主義憲法ー」

日時：5月19日（土）午後3時～4時50分  
会場：滋賀大学大津サテライトルーム（JR大津駅前日生ビル4階）

講師：武永淳前滋賀大学経済学部准教授

## ◆第120回 北天満サイエンスカフェ「大阪の空はキレイになったか？」

5月20日（日）14時～16時

場所：天五中崎通商店街（天満，天六，中崎町）

話題提供：久志本俊弘さん（公害環境測定研究会）

参加無料・予約不要

## ◆京都支部学術集会

日時：5月20日（日）10：00～12：30

会場：同志社大学・室町キャンパス寒梅館6階大会議室

1. 藤本文朗・青木道忠「教育学の構造と教師（専門職）教育」 2. 小林芳正「低周波音被害のその後」 3. 大倉弘之「福島原発事故による日米の被ばく者達」 4. 富田道男「原発の運転差止仮処分裁判における不当決定の詳細を見る」 5. 左近拓男「軍学共同研究と大学の研究・教育」

## ◆京都支部第27回自然科学懇談会

日時：5月26日（土）13：30～15：30

場所：京大楽友会館

テーマ：生命誕生への道を解き明かす GADV-タンパク質ワールド仮説（仮題）

講師：池原健二氏（奈良女子大学名誉教授：生命科学）

## ◆「第9回ひこねピースフェスタ」

日時：5月27日（日）9：40～16：50

場所：滋賀県立大学（彦根市）

映画「この世界の片隅に」上映，他に多彩な企画

参加協力券：1,000円（高校・大学生：500円，中学生以下：無料）

問合せ先：彦根労文センター（電話：0749-22-2533，fax：0749-26-57597）

## ◆第1回玉造サイエンスカフェ

「大阪を縦断する上町断層 上町断層のリスクを評価する」

話題提供：廣野哲朗さん（大阪大学大学院理学研究科）

日時：6月3日（日）11時から13時 場所：玉造日之出通南商店街

参加無料・予約不要

主催：玉造日之出通南商店街協同組合 <https://www.scafe-osaka.com/>

## ◆第16回サンメイツ・サイエンスカフェ「薬物から心と体を守る」(題目変更)

6月9日（土）14時～16時

話題提供：大内啓子さん（大阪府薬物乱用防止教育講師）

場所：大東サンメイツ 1階（JR住道）

<http://sunmates.net/>

## ◆関西懇6月例会

日時：6月10日（日）14時～17時

場所：大阪国労会館

テーマ：新幹線台車の亀裂・品質データ改ざん問題と工業材料の基礎および材料の強さ・破壊について

担当：中村郁夫

## ◆関西懇7月例会

日時：7月8日（日）14時～17時

場所：大阪国労会館

テーマ：シュミレーションソフト「FreeFEM++」とその応用例

担当：西山一男

「JSA 近畿」は原則として毎週発行。会員が個人や小グループで企画する催し案内も掲載します。記事掲載をご希望の方は、各支部事務局までお知らせください。今期の編集は兵庫支部担当です。